

自主検査 (H鋼吊り+直天・野縁H-25FL)

工事名	
施工期間	令和 年 月 日～令和 年 月 日

ゼネコン		検査日	令和 年 月 日		検査員			
施工会社								
材料メーカー	(株)佐藤型鋼製作所							
工程	管理項目	測定方法	測定頻度	管理許容値	異常時の処置	検査確認チェック	検査実施年月日	備考欄
材料受入れ	① H鋼吊金具がH鋼のフランジに両方から隙間のないように挟み込まれ、締め付け用ボルト・ナットでしっかり固定されているか。H鋼吊金具同士が3/8"ボルトで連結されてゆるみなく取付けられているか。	目視	工区毎	特になし	修正			図①～⑦
H鋼にH鋼吊金具の取付け・吊ボルトの取付け・X方向角形鋼SLGB-100を1～2本取付け(レベル出し)	② 1/2"吊ボルトがゆるみなくH鋼吊金具に取り付けられているか。	目視	工区毎	特になし	修正			図①②
	③ 1/2"長ナットで1/2"吊ボルトを接続する場合、吊ボルト同士がゆるみなく取付けられているか。	目視	工区毎	特になし	修正			図③
鉛直補強材・ブレースSLGB-45の取付け	④ 鉛直固定EがH鋼吊金具(大)又はX方向とY方向補強材に隙間なく取り付けられているか。	目視	工区毎	特になし	修正			図④⑤
X方向補強材の取付け・X方向補強材ジョイント部の取付け	⑤ 斜め固定L①とH鋼吊金具(大)がM16 x 100ボルト・M16ナットでゆるみなく固定されているか。	目視	工区毎	特になし	修正			図⑥⑦
	⑥ t6座金を締め付けるナットは1/2"Wナットで留め付けてあるか。	目視	工区毎	特になし	修正			図⑧⑨
Y方向補強材の取付け・Y方向補強材ジョイント部の取付け・X方向補強材とY方向補強材の留め付け	⑦ ブレースと斜め固定K100がビス留めされているか。斜め固定K100がX方向又はY方向補強材にビス留めされているか。	目視	工区毎	特になし	修正			図⑩⑪
X及びY方向ブレースをX及びY方向補強材に取付け	⑧ 斜め固定K100の先端とt6座金のクリアランスが10mm以内になっているか。	目視・実測	工区毎	10mm以内	修正			図⑧⑨
	⑨ 角形鋼をつなぐジョイント金具は両面からかぶせているか。M12ボルト・ナットが確実に締め付けられているか。	目視	工区毎	特になし	修正			図⑫-1 図⑫-2
X方向水平材の取付け・レベル調整 X方向水平材ジョイント部の取付け	⑩ 直交固定金具が隙間なく取付けてあるか。	目視	工区毎	特になし	修正			図⑬
Y方向水平材の取付け・Y方向水平材ジョイント部の取付け	⑪ 100BOXハンガーに補強板が図⑭のように取付けてあるか。100BOXハンガーと角形鋼がビスで固定されているか。 レベルは所定の高さになっているか。	目視・実測	工区毎	特になし 10mm以内	修正			図⑭
Y方向水平材とX方向補強材の留め付け	⑫ Y方向水平材と野縁H-25FLの固定専用ビスMJ16 2本で留められているか。 野縁H-25FLジョイント部専用ビスMJ16 4本で側面から留められているか。	目視	工区毎	特になし	修正			図⑮
野縁H-25FLの取付け	⑬ 開口部はTジョイント1ヶ所につき専用ビスL-19 4本で留めてあるか。	目視	工区毎	特になし	修正			図⑯
開口補強の施工	⑭ 開口部はタンゴ1ヶ所につきドリルねじSDF22 8本(見えるところは6本)で留めてあるか。	目視	工区毎	特になし	修正			図⑰
天井ボード貼り	⑮ 全ての金具が所定のビスの本数でしっかり留め付けてあるか。	目視	工区毎	特になし	修正			
	⑯ レベルは所定の高さになっているか。	実測	工区毎	10mm以内	修正			
	⑰ X・Y方向角形鋼と壁との隙間は50mm程度になっているか。	目視・実測	工区毎	50mm程度	修正			